発行：滝上町

各戸配布 2024年9月

童話村まちづくりニュース 01

この通信は「童話村構想」に基づく新たなまちづくりの検討状況を町民の皆さまにお知らせするものです。

「童話村構想」に基づく新たなまちづくりの検討がはじまりました

滝上町では、令和６年度より２カ年かけて「童話村構想」に基づく新たなまちづくりの検討を町民、事業者、町が協働し、地域ぐるみで進めていくこととしています。

今年度（令和６年度）は基礎調査として、町民の皆さまに「インタビュー調査」および滝上町の「暮らしのお気に入り」をお聞きし、町への想いを集めます。また、来年度（令和７年度）には町民の皆さまを中心に滝上町に関わる様々な方が集まり、まちのこれからについて対話する場「滝上町100人ワークショップ」を実施予定です。奮ってご参加ください。

これから２カ年を通して、定期的に町のホームページや本通信で情報発信します。ぜひご覧ください。

童話村ってな～に？

1990（平成２）年３月に策定された
「童話村構想」

「童話村」は滝上に住む人の意識、滝上という自然環境を総合的に表すまちづくりのテーマです。そのテーマに沿って住む人がいきいきと暮らす取り組みを実践するための手引書として「童話村構想」があります。

町民の皆さまと「童話村構想」に基づく新たなまちづくりについて一緒に考える機会を設けていきます

［２カ年の検討ステップ］

今年度（令和６年度）
- 町民インタビュー調査
- 暮らしのお気に入り収集

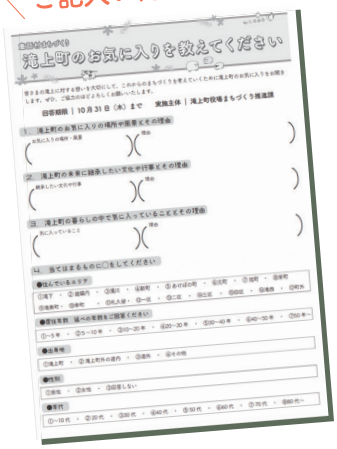
来年度（令和７年度）
- 滝上町100人ワークショップの開催

100人ワークショップのイメージ

平成27年に開催された「滝上100人女子会」の様子

滝上町での暮らしのお気に入りをお聞かせください

回答用紙は
指定の施設内で
ご記入いただけます



皆さまの滝上に対する想いを大切して、これからのまちづくりを考えていくために滝上町での暮らしのお気に入りをお聞きします。主に「滝上町で気に入っている場所や風景」「未来に継承したい文化や行事」等をお聞きします。ぜひご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

回答する方法は
２通り
あります！

①インターネットで回答する方法

右のQRコードを読み取り、Googleフォームからご回答ください

②町内施設内にて用紙で回答する方法

役場、文化センター、スポーツセンター、国保診療所、基幹集落センターにある回答場で用紙に記入し、ご回答ください

Googleフォーム
はこちらから！

「童話村構想」のはじまりを知るお二人にお話を聞きました！

「童話村構想」に基づく新たなまちづくりの検討を進めるにあたり、まず構想のはじまりを知る近藤信一さん、竹内正美さんに当時の様子や今後のまちづくりについてお話を聞きました。

「童話村」という言葉ができたきっかけは？

構想が策定されたのは、全国的に町おこしの活動が盛んで、新しい建物が次々と建てられていく、そんな時代でした。

滝上町では過疎化を食い止めるため、町の特徴である主産業の農林業や、芝ざくら・渓谷などの景観、豊かな自然環境などを活かしたまちづくりをどう進めるべきか模索していました。その過程で、当時竹内さんから「自分が描く滝上の豊かな自然環境などは安野光雅さん作の「旅の絵本」の雰囲気の中にある」という話があり、そこからまちづくりのテーマ「童話村」という言葉に辿り着き、めざすまちのイメージへとつながって行きました。

「童話村」には一人ひとりがここでどんな仕事をしてどんな楽しい生活をしようか、「童話村」のキャンパスに自らの夢を描き、自然と「童話村」を見つけられるような町への想いが込められています。

「童話村を育てる会」と「自遊見究塾」

構想発表の翌年に「童話村を育てる会」の活動がスタートしました。「芝ざくら町民植栽会」や「わが家のガーデンコンテスト」「虹の橋イルミ」など「童話村」を浸透させるために長年にわたり活動を行ってきました。

また、当時は「自遊見究塾」という異業種交流グループも発足し、道内外の市町村との交流も活発でした。１人２分間で将来のまちの姿を提言する「２分間スピーチ」からは、自分のライフワークを地域に還元してもらうという、社会教育の循環をという発想も生まれました。

童話村を育てる会

ふるくて・あたらしい「童話村構想」に込めた想い

ブレーメンファーム

童話村構想は、100 年先を目指して普遍的なものを追求し、古くなっても残したいものを目指していました。当時から大切にしてきた「自然」「環境」「安全」「循環」「共生」という考え方は、現在では、SDGs という持続可能な世界を実現するための世界が目指す方向性とも重なっています。

「童話村構想」の「ふるくて・あたらしい」に軸足を置いて、時代に流されず、長期的な視点で効果的なまちづくりを進めていくことを忘れてはならないと思います。

これからのまちづくり

将来に向けたまちづくりは町民や役場職員一人ひとりが考えて実行していくことが大切になります。具体例では「滝上といえば〇〇」と言われるものを絞り込んで「産地化」することで、働く場の創出や過疎化対策につながります。

また、人口減少や担い手不足が深刻化している中で、いま一度「自遊見究塾」のような若い人たちの異業種交流や他の市町村との交流を活発にしていくことが必要だと思います。周辺の市町村と連携し、人とのつながりや情報も増え、新しい発想や応援し合う関係性も大切になります。100 年を目指してきた童話村構想も 35 年が経過し、当初の理念を基に、具体的なプランを立てて、実行していくことが必要だと思います。

これからも「童話村」の考え方を基本に、住む人が「いきいき」している町、外から見て話題性豊かで「わくわく」する町を目指していけるといいと思います。

問い合わせ先
滝上町役場まちづくり推進課まちづくり推進係
住　所｜紋別郡滝上町字滝ノ上市街地４条通２丁目１番地
電　話｜0158-29-2111　FAX｜0158-29-3588
メール｜machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp